



IISEE Newsletter



2016年9月30日

国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センター

第137号

〒305-0802 茨城県つくば市立原1 TEL 029-879-0678 FAX 029-864-6777

今月の話題

- 21名の研修員が1年間の第56回研修コースを修了
- 国土交通大臣表敬訪問
- 学位記授与式 - 政策研究大学院大学 -
- 研修員代表答辞

研修 データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

21名の研修員が1年間の第56回研修コースを修了

国際地震工学センター 管理室長 山下 崇



閉講式にて

2015—2016年の地震学、地震工学、津波防災の研修コースの閉講式が、9月13日(火)(11時～12時)に建築研究所講堂にて行われました。

1960年に東京大学で開始された本研修は、関係省庁の協議の結果、1962年から建築研究所が引き継ぎ、実施しています。

式典には、研修員を含めた約45名の関係者の皆様が列席されました。閉講式(JICA と建築研究所の合同式典)は、



建築研究所 坂本理事長

JICA 筑波国際センターの芳賀所長と建築研究所 坂本理事長の祝辞で、始まりました。お二人の挨拶に続き、来賓の政策研究大学院大学の春原教授からご祝辞をいただきました。(政研大は、修士プログラムの共同実施者になります。)



フィリピンのゲイルさん

地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)



論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい

祝辞に引き続き、研修修了証と科目履修証が研修員に授与されました。その後、ベストリサーチ賞の授与が行われました。ベストリサーチ賞は、政研大と国際地震工学センターが、学術的にレベルの高い優れた修士論文を執筆した研修生に対し、その栄誉を祝福するために授与しています。今年、フィリピンの Ms. Arianne Gail Saluta RIVERA (ゲイルさん)、エジプトの Mr. Mohamed Abdelrasoul Ahmed SHAHEEN (シャヒーンさん)、ニカラグアの Mr. Greyving Jose ARUGUELLO MIRANDA (グレーヴィングさん)、の3名が受賞しました。



アルジェリアのアーマルさん



インドのアビーさん

また、国際地震工学センター長賞を、アルジェリアの Mr. BENFEDDA Amar (アーマルさん)、インドの Mr. Abhishek GOPAL (アビーさん)、インドの Mr. Ashish GUPTA (アシシさん) の3名の研修員が受賞しました。同賞は、研修プログラムにおいて優秀な成績を収めた者に贈られます。

最後に、エルサルバドルの Mr. Manuel Arturo SALAZAR NAVIDAD (マヌエルさん) が研修員を代表し答辞を述べ式典は終了しました。(P4-5 をご覧下さい。)



インドのアシシさん

石井国土交通大臣表敬訪問

国際地震工学センター 管理室長 山下 崇

2015年—2016年研修生は、9月12日(月)に石井啓一国土交通大臣を表敬訪問しました。



石井国土交通大臣と研修生(2016)

石井大臣は、昨今の日本での大きな地震を通じて、地震の専門家の重要性が高まっていることや、より一層の防災対策の必要性が認識されたことを強調され、本研修の機会を通じて専門家のネットワークへの期待と、研修生がそれぞれの国の

防災分野でリーダーとして活躍して欲しいと激励されました。



楽しむのは今です。

連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>

インドのMr. Abhishek GOPAL (アビーさん)が、研修生を代表して大臣に御礼の言葉を述べ、フィリピンのMs. Arianne Gail Saluta RIVERA (ゲイルさん)、エジプトのMr. Mohamed Abdelrasoul Ahmed SHAHEEN (シャヒーンさん)、ニカラグアの Mr. Greyving Jose ARUGUELLO MIRANDA (グレーヴィングさん)が、それぞれの研究を紹介しました。



石井大臣のご厚意により、研修生は大臣室で20分以上過ごし、最後は1人ずつ握手をして退室しました。

学位記授与式 - 政策研究大学院大学 -

国際地震工学センター 管理室長 山下 崇

政策研究大学院大学との共同事業により、IISEE通年研修生は、1年間の研修を修了すると修士(防災政策)号を取得することができます。

2015年—2016年研修コースの研修生も、政策研究大学院大学(GRIPS)の評価基準と評定に合格することができました。9月14日(水)に、GRIPSの想海樓ホールで学位記授与式が挙行され、博士課程と修士課程の修了生195名が学位記を授与しました。IISEEの研修生を含めた防災政策プログラムの卒業生は34名でした。最初にフィリピンのMs. Arianne Gail Saluta RIVERA (ゲイルさん)が学位記を受取りその後全員が続きました。

式典の後は、卒業生と関係者はレセプションに参加しました。研修生全員が修士号の学位記を持って幸せそうでした。まさに研修生にとっては幸せな1日となりました。最後に、IISEEとしてお世話になった皆様に心から感謝申し上げます。どうもありがとうございました。



修士号学位記授与



学位授与式

バックナンバーは
下記をご覧下さい。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

研修員代表答辞

エルサルバドル Mr. Manuel Arturo SALAZAR NAVIDAD

(マヌエルさん)

坂本建築研究所所長、横井IISEEセンター長、春原GRIPS教授、芳賀JICA筑波国センター長、そして、皆様方、おはようございます。



エルサルバドルのマヌエル

当コースの閉講にあたり、2015年度地震学耐震工学津波防災コース研修員を代表しまして、僭越ながら、この場をお借りし、一言申し上げます。

私たちが、このコースの開講式に参加したことが昨日のように感じます。そのときは、新たなチャレンジのスタート地点にたち、大変緊張していた事を思い出します。ただ、その緊張とは、決して稀なことではなく、未知の世界に入る時には、足がすくむものです。しかし、人は、その未知を克服した段階で、プロフェッショナルとして、また、人としても、大きく前進するのです。

日本の方々は素晴らしく、私たちは、この研修の間、日本の皆さんから、多くの知識や文化を学びました。私たち、途上国が改善されるような、科学、技術など重要な分野から、多くの知識を得たことは言うまでもありません。わたくしが、本日、日本の素晴らしい気質の中で、焦点を当てたいものがあります。勤勉と団結する力についてです。日本のことわざ、「努力に勝る天才はなし。」があります。この気質が、度重なる自然災害にも耐え、復興してきたのです。これが、日本の素晴らしさで、私たちが見習うべき点なのです。

わたくしの人生の中で、およびプロフェッショナルとして、自身の指針となっているストーリーがあります。今朝は、その話を皆様に伝えたいと思います。

ある子供の話です。ある男の子は、動物を見たくサーカスに行きました。その子は、象を見たとき、その象が、たった一本のロープでつながれ、それも、あまり強固でない杭が支えていることに気が付き、恐怖と驚きを感じたのです。象よりも弱小な動物のほうが、客を攻撃しないよう、厳重な檻に入れられているにも関わらず、です。そこで、サーカスの人は、その子に伝えました。象は、幼少時、強固な柱に繋がれているので、小象は、逃げたくても逃げられない。何度も逃げようとするが、結局、現実を受け入れ、象は、逃げることを諦める。その現実とは、一生、逃げられないと。

ここで伝えたいことは、類似の状況が日々起きているのです。人生では、多くは精神的なものに捕らわれて、目標達成の障壁になっています。自分にはできな

い、と言い、つまり、この象のように。しかしながら、もう一度試すか、一生あきらめるか、それを決めるのは、自分自身です。「出来るか、出来ないか、どちらの決定も正しい。」ことを覚えておいてください。ただ、成功すると信じる人は、ただ一人、ほかでもない、自分自身なのです。

最後に、私たちに、知識、経験を与え、そして私たちに信頼を置いてくださった、IISEE、BRI、JICA、GRIPS の皆様には、今一度、感謝の気持ちを申し上げます。加え、常に励ましあい、お互いに支えあった、ここでともに学んだ友人へ、ありがとう。そして、卒業おめでとう。自国に戻り、新たなステージでの活躍、幸運を祈ります。

本日は、ありがとうございました。

マニユエル サラザール

Congratulations!

